

1 研究主題

租税についての関心を高め、税金を身近に感じる児童の育成
～学校生活と税との関連を調べ、解決する学習を通して～

2 主題設定の理由

租税の役割について、学習指導要領では、「租税が国や県、市によって行われている対策や事業などの費用として使われていること、それらは主に国民によって納められた税金であることなどを理解できるようにする」とある。児童は、「税金」という言葉を知っているが、税金とは何か、使い道や自分たちの生活にどのように関わっているかなどについては理解していない。また、児童にとって身近な消費税に対しても品物代としてお金をより支払っているという抵抗感を抱いている児童も少なくない。

そこで、学校生活と税金との関連を調べ、自分たちの学校生活の中に使われていることを知ることにより税金を身近に感じ、正しい知識を身に付けることが未来の納税者としての第一歩であると考え、本主題を設定した。

3 研究目標

学校生活と税金との関連を調べ、解決する学習を通して、租税について関心を高め、税金が身近なものであり、私たちの生活にとって欠かせないものであると実感できる授業の在り方を明らかにする。

4 研究方法

- (1) 5年時に学習の導入として、第1回租税教室を行う。
- (2) 税金に関する意識調査を行う。
- (3) 「国の政治のしくみと選挙」「子育て支援の願いを実現する政治」の学習を通して、税金の基礎を理解させる。
- (4) 地域社会の中の税について調べ、関心を高めるとともに課題設定の視点を増やす。
- (5) 学校生活の中で児童自らが疑問に思ったことや関心のあるものと税金との関連を捉え、課題設定し、調べさせる。
- (6) 第2回租税教室を行い、租税について理解をより深めるとともに、税務課の方から児童の調べ学習のアドバイスをいただく。
- (7) 調べたことをスライドにまとめ、発表させる。
- (8) 税金に関する意識調査を行い、学習前と比較し、税金に対する見方や考え方の変容を見取る。

5 研究計画

学年	月	学習内容
令和4年度	1月27日	・第1回租税教室。
令和5年度	6月～8月 10月	・事前意識調査 ・授業実践 ・事後意識調査 ・研究のまとめ

6 研究の概要

(1) 指導計画 (全12時間 社会科 11時間 図画工作科 1時間)

学年	次	学習内容	時数
5年	1	・第1回租税教室。	1
6年	2	「国の政治のしくみと選挙」	1
		・「選挙のしくみと税金の働き」について学習する。	
		「子育て支援の願いを実現する政治」	
3	課題別グループ学習	・「税金の働き」について学習する。	1
		・身の回りの税について調べる。	1
		・学校生活と税金との関連を捉え、課題設定を行う。	1
		・課題について調べ活動に取り組む。	2
		・第2回租税教室。	1
		・調べたことをスライドにまとめる。	2
・発表会をする。	1		
・事後活動	1		

(2) 【第1次】 5学年時租税教室 (令和5年1月27日)

仙台南税務署の方々に来ていただき、スライドやDVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を使いながら税金とは何か、どんなことに使われているのかなど基礎的な税金の役割について教えていただいた。また、1億円のレプリカを持たせていただき、お金の大切さを重みで実感することができた。



《租税教室後の児童の感想》

- ・税金があるのとないのとでは、こんなにも生活が変わるのだと気付きました。
- ・税金がないと公園や道路とかが壊れても直すことができないことが分かりました。
- ・私が払っている何十円が国のために使われているのは、びっくりしました。
- ・税金のことをしっかり覚えて、上手にお金を使える人になりたい。

(3) 【第2次】 6学年時

①税に関する事前調査（令和5年度 6年1組24名 6月中旬実施）

<p>1 税金にはどのような種類のものがありますか。（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none">・消費税（19名） ・所得税（5名） ・住民税（1名） ・相続税（1名）・分からない（3名） <p>2 税金はどのようなことに使われていますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・建物を建てるお金（5名） ・学校の物（6名 教科書を含む）・国や町、市のため（3名） ・公園（2名） ・道路の工事（2名）・災害復興（1名） ・交番（1名） ・消防署（1名） ・町役場（1名）・ゴミ処理場（1名） ・社会をより良くするため（1名） <p>3 税金は必要だと思いますか。</p> <p>○はい 23名 （主な理由）</p> <ul style="list-style-type: none">・暮らしが大変なことになってしまうから。・去年見たアニメのように散々な目にあってしまうから。・町がボロボロになってしまう。・壊れた橋，壊れた道路とか子供が好きな公園を作れないから。・火事が起こった時にお金がかかる。教科書もお金がかかる。・公園などに行くときにお金が取られるから。・社会をより良くするには必要だと思ったから。・ゴミ処理場が機能しなくなって町がゴミだらけになるから。 <p>○いいえ1名</p> <ul style="list-style-type: none">・お金を多く取られるから。 <p>4 税金はどのようなイメージですか。 （主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none">・暮らしを支えているもの（8名） ・お金を取られるもの（5名）・全員が払わなければならないもの（2名）	<p>● はい ● いいえ</p> <p>95.8%</p>
---	------------------------------------

上記の結果から，5学年時に租税教育の授業を受けていることもあり，税金が私たちの生活のために使われているものであり，重要であることを理解している。

一方で，税金の種類についてはまだ分からない実態であり，税金に必要性を感じつつもお金を多く払っているというマイナスな捉えを持っていることが分かった。

そこで，児童にとって身近な学校にある学習用具や施設と税金との関連について調べ，学校生活の具体的な場面で税金が役立っていることに気付かせることが必要であると考えた。

②身の回りの税金について調べる。(4/12時)

「国の政治のしくみと選挙」「子育て支援の願いを実現する政治」(東京書籍「新しい社会」)の単元では、児童センターの建設には税金が使われていること、税金の集められ方や使われ方について理解した。

本時では、小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を使って、税金にはたくさんの種類があることを理解し、インターネットを使って興味のある税金についてどのような税金なのか、誰が納めるものか調べた。特に児童が興味・関心を示したのが、とん税、入湯税、たばこ税、ゴルフ場利用税などである。児童が楽しみながら税金の種類について理解することができた。

(4)【第3次】6学年時

①学校生活と税金との関連を捉え、課題設定を行う。(5/12時)

小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を使用し、学校で使われている税金について調べた。その後、実際に学校を回り、税金で賄われている物とそうでない物を整理し、ワークシートにまとめた。児童の中には、筆記用具や漢字スキルには税金が使われていると判断していたが、区別していく中で、筆記用具や漢字スキルは保護者が直接購入している物であることに気付き、税金が使われている物ではないと理解するなど、税金の理解が深まる様子が見られた。

整理していく中で、より詳しく調べたいことを見つけ出し、課題を設定した。

②課題について調べ活動に取り組む。(6, 7/12時)

同じ課題や類似している課題を持った友達とグループをつくり、話し合い、調べる内容や調べ方、役割分担を決めた。児童から挙げられたテーマは6つである。「遊具と税金」「ICTと税金」「身の回りの物と税金」「図書と税金」「電気と水と税金」「楽器と税金」。グループごとに学校内を調査したり、事務や図書室の先生に質問したりして情報収集に励んだ。調べても分からないことや調べた中で生まれた疑問点については第2回租税教室での質問とすることにした。

《調べ活動の様子》



③第2回租税教室（8/12時 令和5年7月5日）

山元町役場税務課の方に来ていただき、税金についてさらに詳しく教えていただいた。小学生用租税教育教材「わたしたちの暮らしと税」《資料1》を活用し、税金の使われ方や使い道の決め方など税金の基本的なことを丁寧に教えていただいた。また、山元町の税金の収支《資料2》や、つばめの杜公園の建設費用など、より児童の生活に近い観点から教えていただき、理解することができた。

後半には、児童の課題に対する質問にも答えていただき、児童の課題解決の一助となった。

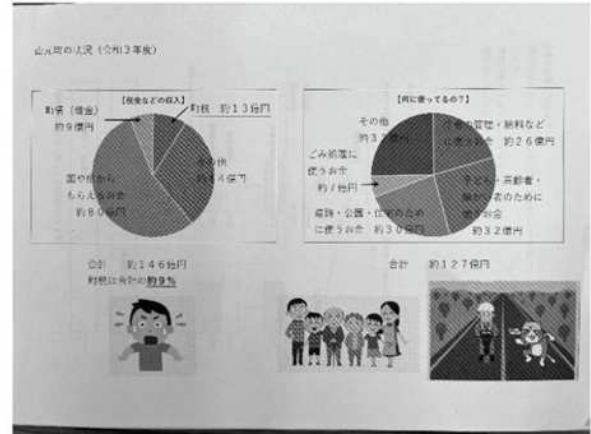
《資料1》



《租税教室の様子》



《資料2》



④調べたことをスライドにまとめる。（9、10/12時）

発表会に向けて、調べたことをタブレット端末を用いてスライドにまとめた。クイズを入れたり、強調したい文字に色を付けたり、挿絵を入れたり、発表を聞く人の分かりやすさを意識した資料作成を行った。そのこともあり、自分たちが調べた学校生活と税金との関わりをより実感することができた。「他のグループのテーマも調べてみたい」「学校生活と税金との関わりが分かった」という感想が児童から挙げられた。

《スライド作りの様子》



⑤発表会をする。(11/12時)

自分たちの課題について調べ、分かったことをまとめ、発表した。他グループの発表を聞く中で、自分のテーマ以外での学校にある物と税金の関わりを考える機会となり、より理解が深まった。児童の感想からは、「学校にある多くの物にこんなにも税金が使われているのだと知った。」「税金の大切さを改めて知った。」という感想が多くあった。

《発表会の様子》



⑥事後活動 (税に関する絵はがきコンクール 12/12時)

税に関して学んだことを活かし、「税に関する絵はがきコンクール」へ応募した。学習を生かした作品を作成する児童が多く、学習したことを振り返るよい機会となった。

《児童の作品》



(5) その他

①スライドの掲示

他学年にも税についての関心を高めてもらうため、校内に児童が作成し、発表したスライドを印刷したものを校舎内に掲示した。

《児童が作成したスライド》

 <p>電気と水と税金</p>	<p>テーマ設定の理由</p> <p>電気代と水道代が値上がりしているので値段が気になったから</p>	<p>調査したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの台数 ・ エアコン1台の値段 ・ 25mプールの体積 ・ 小プールの体積
<p>調査したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水1Lの値段 ・ 1日に使う水の量と値段 ・ 1日に使う電気代 	<p>調査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務の先生への質問 ・ 各教室への調査 ・ 租税教室の先生への質問 	<p>調べて分かったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日の電気代は5,000～6,000円 ・ 水1Lで約0.34円 ・ 1日で水3100L使い、1,000円 ・ エアコン1台40～50万円 ・ 小プール約7万L ・ 大プール約25万L
<p>クイズ!!</p> <p>山小のエアコンは何台あるでしょう??</p> <p>①14台 ②17台 ③21台</p>	<p>クイズ!!</p> <p>25mプールの建設費用はいくらでしょう</p> <p>①1億円 ②1億5000万円 ③3億円</p>	<p>感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一つ一つの値段が学校だと規模が大きくて驚きました。 ・ 一年間水を使い続けるととんでもない額になることがわかった。 ・ 税金がないと、大変なんだと改めて実感しました。

②懇談会での紹介

児童が税への関心を高めて作成したことを知ってもらうと同時に、家庭でも税について話題にさせていただくため、学級懇談会にて、児童の作成したスライドを保護者に紹介した。

(6) 事後調査 (令和5年度 6年1組25名 7月20日実施)

1 税金にはどのような種類のものがありますか。(複数回答可)

- ・消費税(19名) ・とん税(16名) ・たばこ税(14名)
- ・所得税(11名) ・入湯税(5名) ・酒税(5名) ・住民税(4名)
- ・ゴルフ場利用税(4名) ・印紙税(3名) ・自動車税(3名)
- ・相続税(1名) ・相続税(1名) ・贈与税(1名) ・固定資産税(1名)

2 税金はどのようなことに使われていますか。

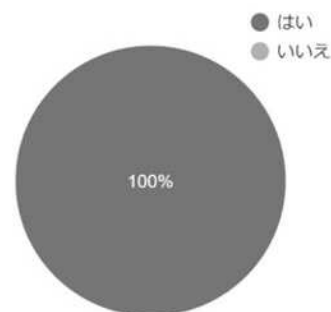
- ・学校の物(14名 教科書やiPad, 遊具を含む) ・国や町, 市のため(7名)
- ・社会をより良くするため(3名) ・町の施設作り(2名)
- ・公園(1名) ・公共施設(1名) ・交番(1名) ・消防署(1名)
- ・公民館(1名)

3 税金は必要だと思いますか。

○はい 25名

(主な理由)

- ・机やいすも教科書もなくなって勉強ができなくなってしまうから。
- ・子供が遊ぶ場所がなくなってしまうから。
- ・学校には多くの税金が使われていることを学んだから。
- ・道路が壊れたままになってしまうから。
- ・交通費や警察の調査にお金がかかってしまうから。
- ・今の生活ができなくなってしまうから。
- ・町の建物がなくなってしまうから。
- ・ごみ処理場が機能しない。



4 授業を終えた感想

(主な感想)

- ・税金がもしもなかったら, 世界はどうなるのか考えました。
- ・税金の良さを知ることができて良かった。
- ・たくさんの税金の種類が分かりました。自分たちがやっていたテーマ以外にも詳しく調べてみたいと思いました。
- ・ICT機器と税金を調べました。学校内には税金が使われているICT機器がとても多かったことに驚きました。
- ・身の回りの物のほとんどが税金で使われていることが, 金額にしたら一目瞭然で分かりました。

- ・身の回りの物がほぼ税金なので改めてもっと物を大切に使おうと思いました。
- ・難しいこともたくさんあったけどいい勉強になった。
- ・改めて税金が大切だと思いました。
- ・学校に使われている物ほぼ全てに税金が使われているので税金の大切さが分かった。

7 研究の成果と課題

(1) 成果

- ・児童にとって身近な学校生活と税との関わりを課題としたことや、興味・関心に合わせて課題設定し、調べ学習をしたことで児童が主体的に取り組みながら活動できた。課題解決する中で、税金を身近に感じ、理解を深めることができた。また、事後アンケートの結果から、学習内容を理解し、全員が税金の必要性を実感するとともに、税金にマイナスなイメージを持っていた児童も税金は大切なものであるという考えに変容したことが分かった。
- ・税金についての理解に関連して、税金で賄われている学習用具や施設を大切に使おうとする態度を養うことができた。実際に日常生活でも、「水道代がかかるから水の出しっぱなしはだめだよ。」と友達に注意する場面を見ることができ、学習したことが実生活に結び付いていると感じられた。
- ・租税教室を児童の調べ活動の中間に設定したことで、児童が意欲的に参加することができた。また税務課より町の詳細な資料の準備や質問に答えていただいたことで専門的な知識を得ることができ、充実した時間となった。

(2) 課題

- ・家庭から協力をいただくことや啓発ができればよかった。懇談会で紹介する場面を設定したが、児童の発表を見せることや家庭でのインタビューを行うなど、より家庭での話題としてもらうことができたように思う。
- ・今年度、年間指導計画に一時的に租税教育を設定したため、社会科の時数が逼迫した。教科横断的に設定するなど、無理のないカリキュラム作成が必要だと思った。